

2022年4月6日

SUBARU 米国IIHSが新設したシートベルトリマインダー評価で 最高評価を獲得(米国仕様車が対象)

この度、米国IIHS*1が自動車メーカーにシートベルトリマインダーの改良を促すため新設したシートベルトリマインダー評価プログラムにおいて、2022年モデルのアセントとフォレスタ―(米国仕様車)が最高評価を獲得しました。



フォレスタ―(米国仕様車)

このプログラムでは、警告音の音量や継続時間、警告のタイミング等の指標に基づき、各車のシートベルトリマインダーを「Good」「Acceptable」「Marginal」「Poor」の4段階で評価します。最高評価の「Good」を獲得するためには、車が時速6マイル(時速約10km)以上で走行しているにもかかわらず、前席の乗員がシートベルトを装着していないこと、もしくは2列目の乗員が装着していたシートベルトを外したことをシステムが検知したときに、警告音に加え、メーターパネル、頭上パネル、もしくはセンターコンソールに配置された警告灯を用いて、ベルト非装着を知らせることが求められます。

加えて、警告音は、車内騒音の中でも十分に聞こえることが必要となります。前席に乗員が座っているにもかかわらずシートベルトが装着されない場合には、警告表示および警告音が90秒以上継続することも求められます。また、2列目座席のシートベルトが一度装着された後に外された場合、リマインダーは30秒以上継続する必要があります。その他、2列目座席については、ドライバーが車両を始動したときに警告表示を出すことも求められます。

今回評価を受けた26車種のSUVモデルのうち、アセントとフォレスタ―の2車種のみが最高評価である「Good」を獲得しました。両モデルは、テスト速度において、人間の耳が周囲の車両の騒音と比較して約4倍大きく聞き取れる警告音を備えています。この警告音がベルトを装着するまで継続する他、前席と後席両方に求められるその他すべての要件も満たしました。

米国では、シートベルトリマインダーは、4秒から8秒間続く警告音に加え、運転席のシートベルトが装着されていないときには60秒以上警告表示が点灯する必要があると規定されています。IIHSが行った調査によれば、より気付きやすく、かつ持続するリマインダーを用いることで、シートベルトの装着が習慣化されていない人の装着率は最大で34%増加し、年間推定1,500人の死亡を防ぐことができるとされています。

*1: Insurance Institute for Highway Safety(道路安全保険協会)